

見学会レポート

●見学会の実施
処分場や循環組合の運営について、広く一般の方々に理解していただき協力を得るため、処分場への見学を積極的に受け入れています。

恒例の「夏休み処分場見学会」を行いました

毎年恒例の「夏休み処分場見学会」を8月8日(水)、22日(水)に実施し、親子を含む129名の方々にご参加いただきました。
両日とも参加者は、多摩地域の清掃工場でごみ処理の様子を見学した後、二ツ塚処分場に到着。昨年より本格稼働しているエコセメント化施設を、続いて不燃ごみ埋立区域などを見学しました。さらに、すでに埋立が終了した谷戸沢処分場に移動し、日の出町の環境指導員の案内で谷戸沢記念館や自然観察路を見学しました。夏休みの自由研究にしようともメモをとる子どもや、様子を写真に収める参加者も多く見受けられました。



日の出たより

日の出町 NO.35

気軽に楽しめるハイキングコース 御岳山から日の出山、つるつる温泉へ

秋のハイキングにおすすめのルートを紹介。JR青梅線・御嶽駅より路線バスに乗り、御岳登山鉄道の滝本駅からはケーブルカーで御岳山へ。ここから日の出山(標高902m)までは約1時間、尾根づたいになだらかな道を歩きます。日の出山頂では、天気がよければ都内の高層ビルも望める見事な眺望が広がります。クロモ岩を過ぎ、山頂より約1時間ほどで「ひので三ツ沢つるつる温泉」に到着。疲れた体を温泉でリラックス&リフレッシュ、食事やお土産の購入もできます。



帰りは、JR五日市線・武蔵五日市駅行きの機関車の形をしたバスを利用。途中下車して、日の出町の特産品を販売する「ひので肝要の里」へ。ブルーベリージャムや日の出産の生乳を使ったソフトクリームが人気で、そば打ち体験教室も開催しています(要予約)。おすすめ土産は、機関車型のバスに入った「バステラ」(カステラ)。機関車バスの形の「チョコQ」や携帯ストラップ「チロ鈴」も、かわいいと評判です。

●問い合わせ先 日の出町役場 経済課 商工観光係 TEL.042-597-0511(内線:241・242)
●日の出町ホームページ http://www.town.hinode.tokyo.jp/

循環組合の動き

6月 25日(月) 第21回環境保全調査委員会	7月 18日(水) 平成19年第3回理事会
6月 28日(木) 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会	7月 26日(木) 平成19年第1回議会臨時会
7月 2日(月) 平成19年第3回正副管理者会議	8月 31日(金) 第31回谷戸沢処分場環境影響評価委員会
7月 5日(木) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会	9月 3日(月) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
7月 6日(金) 谷戸沢処分場水質等調査結果公表	9月 4日(火) 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
二ツ塚処分場水質等調査結果公表	9月 10日(月) 谷戸沢処分場水質等調査結果公表
エコセメント化施設水質等調査結果公表	二ツ塚処分場水質等調査結果公表
(平成18年度分)	エコセメント化施設水質等調査結果公表
平成18年度ダイオキシン類調査結果公表	(平成19年度第1四半期分)

組合議会の報告

循環組合の議員は、多摩地域25市1町の議会議員の中から選出されています。平成19年第1回循環組合議会臨時会が7月26日に開催され、次の案件について審議しました。

議案と議決結果	番号	件名	議決結果
議案第6号	専決処分(平成18年度東京たま広域資源循環組合一般会計補正予算(第2号)の承認を求めることについて)		承認
議案第7号	監査委員(議会選出)の選任につき同意を求めることについて		同意



<http://www.tama-junkankumiai.com>

循環組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449

「たまエコニュース」の内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。
〒183-0052 東京都府中市新町2-7-1 東京自治会館内 東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係
【メールアドレス】sjkumiai@tama-junkankumiai.com



多摩400万人のごみ情報紙

たまエコニュース

3月号
6月号
9月号
12月号
VOL.43
SEP.2007

年4回・最終日曜日発行
※掲載内容と時期により、発行日が前後する場合があります。

発行:東京たま広域資源循環組合
【事務局】〒183-0052 東京都府中市新町2-7-1 東京自治会館内
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449

循環組合組織団体
八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市 府中市 昭島市 調布市 町田市 小金井市 小平市 日野市 東村山市 国分寺市 国立市 福生市 狛江市 東大和市 清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市 稲城市 羽村市 西東京市 瑞穂町
循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

「循環組合」とは
二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町のみならずの協力を得ながら、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用。また、不燃ごみの埋立をしています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

Information

7月26日に開催された循環組合議会臨時会において、次のとおり新しい議長と副議長が選出されました。

新議長・副議長 就任の挨拶

議長:小林義治(多摩市)

日の出町並びに構成団体の皆様には、処分場並びに本組合議会に対し、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、地元の皆様のご多大なるご理解のもと、エコセメント化施設が本格稼働して1年が経過しました。この施設は全国においても廃棄物処理の最も先進的な事例であり、循環型社会実現への大きな取り組みです。
組合議会としてもこの事業を安全かつ確実に進行させるため、更なるごみの減量、リサイクルの推進はもとより、環境対策など諸課題の解決に邁進してまいりたいと決意を申し上げ、議長就任の挨拶とさせていただきます。



副議長:宮崎昭夫(小平市)

25市1町の処分場並びに組合議会の運営に、日の出町の皆様にはご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。
さて、懸案となっております最終処分場の延命策を図る事からエコセメント化施設の検討が始められ、昨年の7月から本格稼働されました。当初より30年以上の延命が図られる画期的な事業でございます。各自治体においても更なるごみの減量化、環境対策等「資源循環型社会」の形成に向け努力を切望すると共に、我々議会においても次世代に誇れる努力を傾注してまいります。



三多摩は一つなり交流事業

最終処分場を受け入れていただいている日の出町の方々や多摩地域25市1町の住民とが、文化・スポーツなどの事業を通じて交流し、相互の理解を深めていくことを目的とした「三多摩は一つなり交流事業」を行っています。平成19年度の実施予定は以下の通りです。これから開催される事業もありますので、詳しくは各担当自治体にお問い合わせください。

団体名	事業名	時期
三鷹市	アニメーション美術館見学と三鷹阿波踊り	8月18日
日野市	日野市クリーンセンター見学と多摩テック	8月23日
日の出町	二ツ塚処分場見学とさかな園	8月29日
稲城市	よみうりランドとクリーンセンター多摩川見学	9月29日
多摩市	パルテノン多摩観劇への招待	10月16日
武蔵野市	武蔵野文化事業団事業への招待	11月6日
調布市	少年サッカー教室及び各市対抗戦、Jリーグ観戦	11月18日
福生市	福生市民会館演劇鑑賞招待	11月18日
小平市	ルネこだいらコンサート鑑賞と平柳田中館見学	12月9日

エコセメント化施設の本格稼働から1年が経過 二ツ塚処分場のごみ埋立量が大幅に減少しました

処分場に埋め立てられるごみの量は6年連続で減少しています

現在、多摩地域25市1町で収集される可燃ごみと不燃ごみは、それぞれの自治体が運営する清掃工場(中間処理施設)で、焼却や破砕などの処理が行われた後、日の出町にある二ツ塚処分場に運ばれ、可燃ごみの焼却灰はエコセメントにリサイクルされ、不燃ごみは埋め立てられています。

循環組合では「廃棄物減容(量)化基本計画」を策定し、計画的にごみの減量化を図っています。その結果、ごみの減量や資源化など、みなさんのご協力もあり、処分場に埋め立てられるごみの量を、平成13年度以降6年連続で減少させることができました。

また、平成18年度の1年間で処分場に埋め立てられたごみの容量は、可燃ごみの焼却灰と不燃ごみを合わせて24,366m³となり、前年度と比べて約75%という大幅な削減を達成しました。

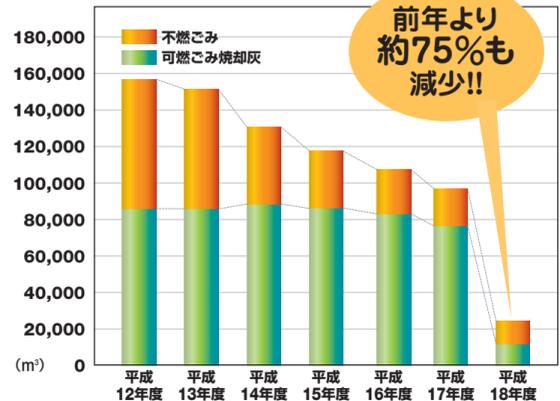
エコセメント化施設の本格稼働で埋立量が大幅に削減しました

埋立量の削減は、平成18年7月からエコセメント化施設が本格稼働したことが大きな要因になっています。エコセメントは可燃ごみの焼却灰を主原料とする新しいタイプの土木・建築資材です。処分場に持ち込まれるごみのうち、約8割を占めるのが可燃ごみの焼却灰です。これまで埋め立てざるを得なかったものが、施設の本格稼働によって資源としてリサイクルされるようになったため、大幅に埋立量を削減することができたのです。

しかし、一方で二ツ塚処分場は平成19年3月までに約43.4%の埋立が終了し、現在も不燃ごみの埋立は続いています。処分場が満杯となっても、用地確保などの問題から新しい処分場の建設は困難な状況です。限りある処分場を有効に利用していくため、今後もごみの減量、資源化の取り組みにご協力ください。

二ツ塚処分場の埋立量の推移

二ツ塚処分場に埋め立てられた可燃ごみ焼却灰と不燃ごみの量の推移。



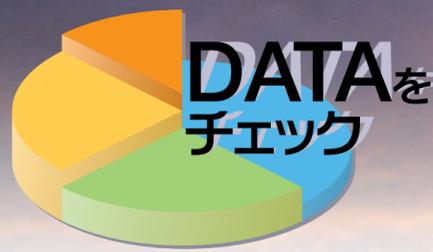
昨年7月より本格稼働しているエコセメント化施設

処分場に木を植えよう!! 青梅市立第六小でポット苗の育成が始まります

循環組合では環境保全のための事業として、二ツ塚処分場に残された緑地内の植林を行っています。現在、スギやヒノキ林から広葉樹も繁る多様混交林への転換を図るため、地元産のドングリなどの種子を散布するとともに、ポット苗で生長させた苗の補植を継続的に行っています。今年度から青梅市立第六小学校の協

力のもと、ポット苗の育成に取り組むことになりました。7月13日(金)には同小学校の5年生が処分場見学に訪れ、環境保全の取り組みについて話を聞くとともに、二ツ塚・谷戸沢処分場内に生息する植物や昆虫に触れました。この秋以降に子どもたちに種子を配布し、ポット苗の育成を進めていく予定です。





循環型社会の実現をめざし、多摩25市1町が力を合わせてごみを削減!



エコセメント事業の推進により、新しい物質循環の仕組みを実現した環境先進地域・多摩。住民のみなさんのごみ削減の取り組みも着実に成果を上げています。

平成18年度のごみの搬入量は前年に比べ6.1%減少しました

平成18年度の1年間で、二ツ塚処分場に持ち込まれたごみの量(搬入量)は、可燃ごみの焼却灰と不燃ごみを合わせて96,554トンでした。これは、前年度と比較して6.1%減少しました。とくに処分場に埋め立てなければならない不燃ごみについては、約25%と大きく量を減らすことができました。

また、多摩25市1町で収集されるごみの量について、可燃ごみで17,006トン、不燃ごみで6,137トンが1年で削減されました。反対にリサイクルされる資源ごみは2,653トン増加しました。この間に多摩地域の人口が2万人以上増加していることを加味すれば、住民1人が出すごみの量が確実に減少していることがうかがえます。



25市1町の総ごみ比較 平成17・18年度

総ごみ量は、市町による収集ごみと、許可業者等が収集して市町の処理施設に搬入する持込ごみを合わせた量。

	平成17年度	平成18年度	前年比較
人口(人)	3,921,129	3,944,222	23,093
可燃(トン)	866,148	849,142	-17,006
不燃(トン)	115,277	109,140	-6,137
資源(トン)	247,886	250,539	2,653
粗大(トン)	30,336	30,356	20
有害(トン)	1,704	1,680	-24
合計	1,261,351トン	1,240,857トン	-20,494トン

※組合組織構成団体25市1町の合計の数値。
※「多摩地域ごみ実態調査」(平成17年度版、平成18年度版・財団法人東京市町村自治調査会)より。

「3R」を意識して一人ひとりが着実にごみ減量を!

この成果は、みなさんのごみの減量や資源化などへの協力により達成できたものです。また、15の市町で導入されているごみ収集の有料化などの施策も、ごみ減量に影響があったといえるでしょう。

現在、ごみ問題を解決するためのキーワードとして「3R」が注目されています。「リデュース・リユース・リサイクル」、この3つの「R」をバランスよく実践することが、ごみ減量を促進するのです。

新しいリサイクルの形であるエコセメント事業を推進する多摩地域は、全国トップクラスのリサイクル率を誇る環境先進地域です。今後も住民一人ひとりが積極的に3Rに取り組むことで、資源循環型社会づくりのモデルケースを全国に発信していきます。



不燃ごみが埋め立てられる二ツ塚処分場。奥に見えるのがエコセメント化施設

平成18年度 組織団体別廃棄物搬入量

組織団体(25市1町)各市町の人口と、二ツ塚処分場およびエコセメント化施設への廃棄物搬入量。

組織団体	人口 平成18年10月1日現在	搬入量
八王子市	548,130	13,307
立川市	174,514	6,525
武蔵野市	136,520	3,673
三鷹市	174,776	2,710
青梅市	140,416	3,196
府中市	243,028	3,773
昭島市	112,385	3,295
調布市	213,613	3,962
町田市	412,179	10,867
小金井市	112,037	2,107
小平市	181,537	5,281
日野市	173,624	4,828
東村山市	147,145	3,473
国分寺市	115,783	2,971
国立市	73,641	991
福生市	61,262	1,540
狛江市	77,026	745
東大和市	81,376	2,611
清瀬市	73,593	1,955
東久留米市	116,007	3,477
武蔵村山市	68,737	2,051
多摩市	144,272	4,484
稲城市	78,738	868
羽村市	57,350	1,340
西東京市	192,003	5,538
瑞穂町	34,530	986
合計	3,944,222人	96,554トン

※搬入量は小数点以下を四捨五入しており、端数調整を行っています。
※人口:「住民基本台帳による世帯と人口」東京都総務局統計部。

ここが知りたい Q&A

Q 私たちが捨てたごみはどうなるの?

A 地域ごとの清掃工場(中間処理施設)で処理された後、二ツ塚処分場に運ばれて処理されます

ごみの流れ

※資源ごみは収集後リサイクルされ、有害ごみは処理施設へ運ばれ処理されます。

不燃ごみ → 清掃工場(中間処理施設) → 資源を回収細かく砕く → 二ツ塚処分場で埋立

可燃ごみ → 清掃工場(中間処理施設) → 焼却して灰にする → エコセメント化施設でエコセメントに

多摩地域で出たごみは「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「有害ごみ」などに分別された状態で収集されますが、このうち可燃ごみと不燃ごみは、まず各自自治体で運営する清掃工場(中間処理施設)に運ばれます。そこで可燃ごみは焼却し、不燃ごみは細かく破碎するなど、ごみの種類に合わせ、その容量を縮小するための適切な処理が施されます

ただ、この処理方法は施設の処理機能によって若干異なるため、各自自治体では施設の機能等に合わせてそれぞれ分別方法を定めています。ですから、ごみが正しく分別されていないと処理機能が正常に働かなくなり、能力の低下につながります。思わぬ事故の原因にもなるため、ごみはルール通りに分別することが重要です。

その後、多摩地域25市1町の可燃ごみの焼却灰と不燃ごみは、日の出町の二ツ塚処分場に持ち込まれます。そして、焼却灰はエコセメントにリサイクルされ、不燃ごみは処分場に埋め立てられるのです。

小平・村山・大和衛生組合(小平市・東大和市・武蔵村山市)を訪ねました

清掃工場ではごみを焼却する際に生じる熱エネルギーを有効利用しています。小平、東大和、武蔵村山の3市が共同で運営する小平・村山・大和衛生組合では、平成19年4月に足湯施設「こもれびの足湯」をオープン。市民の憩いの場となっています。また、施設内の緑石には「東京たまエコセメント製品」が使用されています。【こもれびの足湯】小平市中島町3-5、利用時間(10月~2月):9時30分~16時、木曜・年末年始休

3つの焼却炉、不燃ごみ積替場、粗大ごみ処理施設などがあります。<http://www5.ocn.ne.jp/~kmyseis/>

地域住民が取り組むごみ減量

ごみの減量は、日頃から住民一人ひとりの心がけが不可欠です。このコーナーでは多摩地域でごみ減量やリサイクルに積極的に取り組む、個人や団体の活動を紹介します。

みんなでごみを減らそう!!

レジ袋有料化で三位一体のごみ減量を

日野市 + 日野市ごみ減量推進市民会議 + いなげや

日野市内のスーパーマーケット「いなげや」の2店で現在、レジ袋有料化の実証実験が行われています。これは「日野市」と、公募市民が参加している「日野市ごみ減量推進市民会議」が小売店に協力を呼びかけ、レジ袋削減を目指すいなげやが、その要望に応える形で実施に至ったものです。実施期間は今年8月1日~11月30日で、市民・自治体・企業の三位一体による取り組みとして、各方面から注目を集めています。

市民会議は、これまで長期間にわたってマイバッグ運動を推進してきた団体です。今回のレジ袋の有料化でも、8月1日~7日には市の職員や市民ボランティアとともにメンバーが店頭で待機し、買い物の際のマイバッグ利用を呼びかけました。「有料化実施から1週間で、マイバッグ等を利用される方は8割ほどに達し、これは目標をはるかに上回る成果でした。この取り組みをきっかけとして、レジ袋有料化を日野市全体に広げ、さらなるごみ減量を進めていきたいと考えています」と市民会議の小野寺勲さん。

市民が繰り返し使えるバッグを持参することやお店の方でもレジ袋を減らす努力をすることなど、一人ひとりの意識変化がごみ減量につながります。

マイバッグを持参すればレジ袋を使わずに済み、ごみ減量につながります(いなげや日野栄町店にて)。

スクarfを活用してバッグ代わりにする人も。

左から、日野市役所・中村成男さん、日野市ごみ減量推進市民会議・小野寺勲さん、いなげや・沢橋洋行さん。

ごみを出す前に、もう1度チェック!!

マークを見てね!!

製品の容器や包装材には、分別収集を促すためのマークが表示されています。ごみを出す前に、マークを確認しましょう。資源ごみとして分別すれば、リサイクルすることができますとともに、ごみを減らすことができます。

- アルミ缶
- スチール缶
- 紙製容器包装
- PETボトル
- プラスチック製容器包装

※分別収集の内容は各自自治体によって異なります。詳細は各自自治体の窓口にお問い合わせください。

みんなでごみを減らそう あなたのアイデア募集!!

ごみ減量や資源の活用について、アイデアや体験談をお寄せください。家庭や地域、学校や職場などでの取り組みや、実際にごみ減量に成功した事例を、「たまエコニュース」で掲載予定です。採用された方には記念品を差し上げます。お気軽にご応募ください。

【送り先】〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 東京たまエコ資源循環組合「たまエコニュース」係 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449 [メールアドレス] sjkumiai@tama-junkankumiai.com

※応募の際は、活動の内容、あなた(グループの場合は代表者)の氏名、住所、年齢、職業、電話番号をご記入ください。取材させていただく場合があります。

3Rって知ってる?

- リデュース (Reduce)** ごみになるものを減らす
- リユース (Reuse)** ものを繰り返し使う
- リサイクル (Recycle)** 資源として再利用する

あなたがやっている3Rを教えてください!!